

令和8年2月28日

日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

No.262

理科室のおじさん研修会

1月25日(木)、教育プラザで行われた理科室のおじさん研修会を紹介します。

瀧澤代表理事からは、児童にモノづくりの楽しさや理科のおもしろさを伝えて、科学の力を育むとともに、理科クラブの理数アカデミー等のプログラムにつなげてほしいとあいさつがありました。また、教育委員会の斉藤指導主事からは、理科室の整理、実験の準備、ヒヤリハットの配信等きめ細やかな支援に学校から多くの感謝の言葉が寄せられているとあいさつがありました。

この日の、研修の内容は盛りだくさんです。

- ①理科室のおじさん新人紹介
- ②モノづくり体感スタジアム報告
- ③日立特別支援学校への理科授業支援紹介
- ④ドローン教室について
- ⑤マイクロビットについて
- ⑥3Dプリンタを使用した教材作成の紹介
- ⑦ヒヤリハット事例紹介
- ⑧よく飛ぶ模型飛行機の紹介

それぞれの説明に対して、研修会の参加者から質問や意見、情報提供など活発で前向きなやりとりがありました。子どもたちのために課題を解決しようとする姿があふれていました。

まず、新人の橋本さん、宮本さんが紹介されました。出席した橋本さんは、理科好きな児童が増えるように貢献したいと決意を述べてくれました。

モノづくり体感スタジアムの報告では、瀧澤代表理事から、科学技術館で体験やモノづくりの工作を行ったが、興味を持ったり、楽しんだりする様子は日立の子どもたちと変わらなかった、そして、日立市で、通年で行っていることの価値を改めて感じたという紹介がありました。

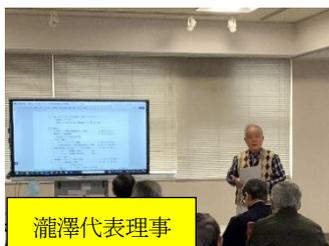
マイクロビットでは、日専校の鈴木さんが「カーリング」を題材にしたアウトリーチを実施していることの紹介、また、柴田さんが「じゃんけん」「人感センサー」等を題材にして、「プログラミングを体験しよう」をテーマに実施していることを紹介してくれました。マイクロビットやドローン出前授業は来年度から本格化する予定とのことで、理科室のおじさんの協力が必要になりそうです。

ヒヤリハットの事例紹介は貴重です。金属のあたたまり方の実験中に炎が上がったことなど、3学期に気をつけたい事例があげられていました。理科室のおじさん方は、「安全に」そして、「いい結果」がでるような実験をしてほしいと準備していますが、そのための、経験と技が凝縮されています。

3Dの使用も画期的です。松田さんが紹介してくれました。独自に研究しているようですが、こんなのがあればいいなという道具や教材を自分で設計してつくっています。教材を工夫することで、実験がよりうまくいくことも多いそうで、理科クラブらしい取り組みだと思えます。活用範囲は無限に広がりそうです。

この研修会で共有した情報や体験を、それぞれの理科室のおじさんが児童の理科好きに向けて生かしてくれると思います。

この日の研修は、午後の、「3Dプリンタ実習」「マイクロビット(カーリング)実習」へと続きました。



瀧澤代表理事



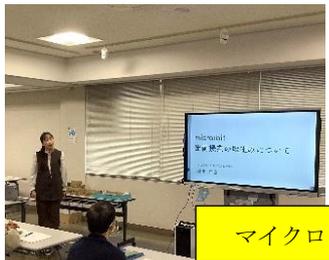
熱心に聞く参加者



新人の橋本さん



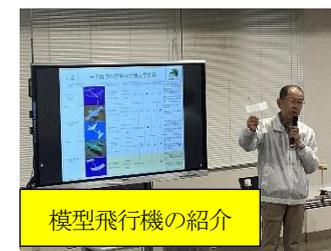
ドローン教室紹介



マイクロビット教室紹介



3Dプリンタの紹介



模型飛行機の紹介